

平成 26 年度 第 3 回理事会抄録

日時：平成 26 年 6 月 28 日（土）13：00～16：44

場所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、清水（副会長）、荻原、香山、小林正、土井、三澤（常務理事）、
宇田、大庭、小川、小林毅、谷、藤井、宮口（理事）、古川、長尾（監事）

理事会の求めによる出席：小賀野（企画調整委員長）、佐藤（総会議事運営委員長）、富岡
（WFOT 代表）、岡本（財務担当）

I 報告事項

1. 平成 26 年定時社員総会について（荻原事務局長、佐藤総会議事運営委員長）5 月 31 日（土）笹川記念会館において開催され、上程議案はすべて承認された。機関誌 6 月号に速報を掲載。出された意見等に対する理事会対応について 7 月の理事会で審議する。

2. 第 16 回世界作業療法士連盟大会および関連会議について（中村会長、山根 WFOT 大会実行委員長）10 月末ぐらいまでに事業報告、決算報告を完了する予定で作業を進めている。総参加者数は約 6,400 名。そのうち参加費を支払って参加した者が約 5,800 名、海外からは約 1,400 名が参加。大きな啓発活動の一つとなった。

3. 心大血管疾患リハ料に関する共同声明とその後の協会対応について（三澤制度対策副部長）心大血管疾患リハ料に作業療法士の職名が追記されたことについて、日本心臓リハビリテーション学会理事長と連名で共同声明を発表した。11 月、12 月に研修を予定。

4. 地域総合支援事業に係る三協会合同 47 都道府県士会会長会議について（中村会長）要支援 1・2 が介護給付ではなく、自治体の一般財源で行う事業となる。実施にあたり準備のための会議を 8 月 9 日に開催する。

5. 渉外活動報告 文書報告

大庭理事：6 月 16 日にリハ医療関連団体協議会報酬改定作業部会に出席し、生活行為向上マネジメントについて説明した。三澤理事：6 月 8 日に JDD ネット第 4 回代議員総会及び懇談会に出席。文科省調査官より懇談の要請があった。連携を取りながら対応していく。

6. 「47 都道府県委員会」準備委員会報告（宇田士会組織担当理事）8 名を準備委員として委嘱することが決定し、会議には事務局から事務局長以下 4 名も出席する。

7. いくつかの倫理問題について（荻原倫理委員長）倫理綱領に反すると考えられる事案が 2 件あり、2 士会と情報交換を行っている段階である。

8. 部員等委嘱の申請用紙と申請方法について（荻原事務局長）部員の委嘱のために申請用紙を作成し、申請方法を定めた。
9. 協会組織・役職名等の英語表記（改正案）について（荻原事務局長）確認の上、7月中旬までに意見をいただきたい。
10. 京都サテライト事務所の整備検討状況について（荻原事務局長）事務所整備案の大枠をまとめた。意見をいただいた上で最終案を作成し、9月の理事会の審議に上程する予定。
11. 日本作業療法士連盟報告（谷連盟担当理事）WFOT大会でブース出展。議員のパーティ等への参加報告。
12. 訪問リハビリテーション振興財団報告（谷財団担当理事）リハステーション「ゆずる」「浜通り」の決算サマリー報告。気仙沼の職員を募集している。
13. その他 清水副会長：地域保健総合推進事業について今年度の申請書を提出。7月にヒヤリング。荻原事務局長：①精従懇担当者として1名（荻原事務局長）追加。②厚労省社会・援護局で長期入院精神障害者の地域移行に向けた課題を検討している。谷理事：6月13日にリハ三協会協議会を開催し、地域リハビリテーション活動支援事業について協議。平成27年度介護報酬改定に向けて要望書を作成。小川理事：6月15日認知症初期集中支援チーム特設委員会を開催。地域総合支援事業として各市町村でプロジェクトチームを立ち上げる。

II 審議事項

1. 副会長と常務理事の選定について（中村会長）副会長に荻原喜茂常務理事を選定し、常務理事として宇田薫理事を選定する。 →承認
2. 平成26年度における役員報酬支給額の決定と支給方法について（香山財務担当理事）内規に基づき今年度の支給額を11,565,880円とし、初年度は総額を7月～3月の9ヶ月で分割する変則的な支給とする。 →承認
3. 認知症の作業療法を検討する特設委員会の設置について（小川教育部副部長）認知症に関する課題や問題を整理し、認知症における作業療法のあり方を検討する認知症の作業療法特設委員会を設置する。 →承認
4. 作業療法学会に関する「規程」「手引き」「組織図」「業務日程」及び「演題採択審査基準」について（小林学術部長）学会に関する「規程」「手引き」「組織図」「業務日程」「演題採択審査基準」について、前回理事会の意見を踏まえて修正を加えた。 →承認

5. 平成 27 年度課題研究助成制度募集要項・研究実施承認書について（小林学術部長）研究Ⅰの応募資格の緩和、研究Ⅱの助成額の変更、助成決定後、施設より「研究実施承認書」の提出を求める等の変更をする。 →承認
6. マニュアル編集に関する執筆者の立場と執筆者の表示について（小林学術部長）マニュアルについて個人著作としたいとの学術部からの提案に対し、法人著作とする意見が出され審議した。採決の結果、個人著作とする者 6 名、法人著作とする者 12 名（委任状 3 名を含む）であった。 →法人著作とすることで承認
7. 生活行為向上マネジメントのシート類に関する著作権表示について（中村会長）生活支援総合事業実施にあたり、厚労省が市町村向けに配布するガイドラインに生活行為向上マネジメントのチェックシートの掲載を検討している。当協会の著作権表示はできないが、出典として当協会名を明記するとしている。本シートを普及することを優先し、厚労省ガイドラインにおいては、補助金研究事業名と研究者としての協会名を表示し、著作権表示はしない。 →承認
8. 認定作業療法士取得研修の水準審査について（小川教育部副部長）各研修会の内容、時間、講師について審査し、要件を満たしていたことから可と判定した。 →承認
9. 作業療法白書 2015 について（小賀野企画調整委員長、荻原事務局長）提案に対して、白書のあり方、発行の目的、データ集約について等の意見が出された。理事の意見を 7 月 15 日までに提出し、意見を踏まえて委員会より再提案する。 →継続審議
10. 女性会員の協会活動参画促進に関わる都道府県士会へのアンケートについて（小賀野企画調整委員長）各士会における女性会員の役員等への参画状況と参画促進に関する士会の考えを伺うアンケートを実施する。協会役員には事前に実施する。 →承認
11. 会員の入退会について（荻原事務局長）会費未納による会員資格喪失後の再入会希望者 15 名。未納会費は精算済み。死亡退会 2 名。 →承認